

2019年8月7日

小児科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「Ⅱ型ムコ多糖症根本治療薬の開発」への協力をお願い

小児科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：1992年4月～2020年4月に小児科および小児病態学において、ムコ多糖症2型の診断を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2022年4月1日

研究目的・方法：

Ⅱ型ムコ多糖症新規治療薬の開発を目的とします。薬物スクリーニングで目的タンパク質をリソソームに局在させることができる化合物が選定できています。選定された化合物の薬効（酵素活性、グリコサミノグリカンの分解能等）を患者由来の線維芽細胞を用いて確認します。この目的で、診断目的に採取され保管されていた線維芽細胞を用います。

研究に用いる試料・情報の種類：

診断目的に採取され保管されていた線維芽細胞(SV40化)を用います。

外部への試料・情報の提供：

広島大学における解析のために線維芽細胞を提供します。患者個人情報、臨床情報は提供せず、病因となる遺伝子変異の情報（何番目のアミノ酸が何に変化したか）のみを提供します。

研究組織：

広島大学医科学研究科分子細胞情報学 教授 今泉和則
広島大学医科学研究科分子細胞情報学 准教授 金子雅幸
広島大学医科学研究科ストレス分子動態学 寄付講座准教授 齋藤敦
広島大学医科学研究科分子細胞情報学 助教 松久幸司
広島大学医科学研究科分子細胞情報学 大学院生 車王
岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学 教授 深尾敏幸

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 小児科
電話番号 058-230-6386
氏名：深尾敏幸

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 小児科
氏名：深尾敏幸

研究代表者

広島大大学院医科学研究科 分子細胞情報学
電話番号 082-257-5130
氏名 今泉和則